

第五回「神南小学校建て替え準備委員会」を実施しました

第一回から第四回の委員会では、新校舎の諸室及び配置・配棟の考え方を中心とした建築計画について、方向性の確認を行ってきました。第五回の委員会では、動線計画やセキュリティの考え方のほか、運用に関する内容について他校の事例なども参考にしながらより具体的な意見交換を行いました。頂いたご意見を踏まえ、引き続き建て替えに向けた協議・調整を行っていきます。

発行年月日：令和4年11月21日
 発行者：渋谷区教育委員会事務局
 住所：〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号4階
 問い合わせ先：電話：03-3463-2795 Mail：sec-gakko-seibi@shibuya.tokyo

R4.10.20 第五回委員会 議題

(1) 新校舎に関する検討について

- ① 校舎のセキュリティ・動線計画について
- ② 一足制について

(2) 意見交換

(1) 新校舎に関する検討について ②一足制について

昨今、多くの学校で導入が始まっている「一足制」について、一般的な考え方をご説明し、運用面も含め、メリット・デメリットを比較した意見交換を行いました。

【主なメリット】

- ① 校庭と教室間の移動が円滑になり、教育の連続性や多様な学びが期待できる
- ② 有事の避難が容易となり、安全性が向上する
- ③ PTAや地域開放の利用者も、履き替えが不要となり、利便性が向上する
- ④ その他
 - ・バリアフリー化がしやすい
 - ・昇降口の靴箱設置スペースが不要

【主なデメリット】

- ① 雨天日の運用方法の懸念
 例：児童が濡れた靴を一日中履くことへの懸念、床の水濡れ対応等がある
- ② 人工芝の校庭など汚れにくい舗装が必須となり、一定の整備コストが必要となる

(1) 新校舎に関する検討について

① 校舎のセキュリティ・動線計画について

主に、学校の一部を地域開放する際の「セキュリティライン」「校舎の出入口」「人の目の配置」等の工夫について、改めて確認を行いました。他校の事例を紹介しながら、渋谷区「新しい学校づくり」整備方針の中に示されている工夫も併せて検討していくことをご説明しました。引き続き、児童やPTA、教職員や地域の代表等、関係者の皆さまの目線に立って、安全なセキュリティ・動線計画を目指すことを共有いたしました。

■各出入口の設置(案)、動線計画について



■学校と地域が協働で行う防災イベントイメージ ※渋谷区「新しい学校づくり」整備方針HP抜粋



③主な意見交換

- Q：地域開放について、セキュリティをどう確保されるのか教えてください。
 A：現段階では、特別教室や体育施設などを地域開放する予定です。セキュリティの考え方や運用方法などは、今後も議論を重ねて検討していきます。
- Q：神南小だけでなく、今後、新しく建設される予定の中学校も一足制の対象となりますか。
 A：中学校も検討対象になると考えています。皆様のご意見を聞きながら、総合的に判断します。

【次回の議題(予定)】

- ・新校舎ゾーニングについて
- ・仮設校舎検討状況について
- ・その他学校運用等について